

	HSK どぼけいと September 9月号 NO.178 2015.9.10号	1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号522号 発行/2015年9月10日(毎月10日発行) 編集者/我妻 武 住所/〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323 H P http://npolife.net/ 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会 定 価/100円
---	---	---

速報 第32回共同連全国大会 北海道大会を終えて

理事長 我妻 武



第32回の共同連全国大会は、「なしてきなの？
なしてわかるの？ いっしょに考えるべ」を北海道の大会のスローガンにして9月12日、13の両日、札幌市にある北星学園大学で500名を超える参加者のもとで行いました。これだけの参加者のもとで大会が行えることに主催者側でありながら感動したのは私だけではないはずですが、また関連行事として財政破綻から復興中である夕張市の現状を知る社会的観光も希望者に提供しましたが、参加された方々は何を感じたのでしょうか。

大会のご来賓では、地元選出の横路孝弘衆議院議員をはじめとして地元の市議会議員の方々、また連合北海道の坪田伸一総合政策局長をはじめ地元で活動している団体の方々からも連帯のご挨拶をいただきました。

その後の記念講演は、「立て、はらから」と題し

て辛淑玉(しん・すご)さんからお話を頂きましたが、ユーモアにあふれた話の中にも世の中にある差別と、知らずに刷り込まれている差別的な見方についてズバリとご指摘いただきました。さらに我々の中にもある気持ちで「主張をせずに良い子になる」ことがどこかにあります。良くも悪くも折り合いをつけてしまうことです。辛さんはこれをせずに主張をすべきことはきちんと主張をしよう、「良い子をやめよう」という言葉にははっとさせられた。

改めて我々は運動していくための基本を示して頂いたような気がしましたし、この大会をスタートするにあたっての良い時間をいただいたと感じました。

その後の記念鼎談、シンポジウムについては、次号で詳しく紹介したいと思います。

速報「第32回共同連全国大会北海道大会」

9月12日(土)・13日(日)の両日、あいにくの雨天の中
全国各地から共同連北海道大会に参加した500余名の人たちが
初日の基調報告から始まり分科会を経て閉会式に至るまでの
参加者の声を拾ってみた。



インタビュー：共働事業所もじや所長 福田 義浩

—全体会でどんなことを感じられましたか？

「辛さんの話のパワーにすごく圧倒されて、とても話の内容が分かりやすくて、自分たちが考える時とかきかけとか、そういうものを与えてもらえたような、そんな気がしました。」（札幌市 30代・男性）

—全体会ですが、どんな印象をお持ちになりましたか？

「そうですね。やはり辛さんの話が印象的でしたね。やはり自分自身、マイノリティーの話になると、自分自身あまりそういう立場に今まで立たされていなかったかもしれないなという事をちょっと思わされて、そこら辺の共感するとかいうところの難しさとか、共感をしていくべきところとやはり建前と、なかなかできないなという難しさを感じました。」（高槻市 40代・男性）

—全体の講演で、特にお考えになったこととか感じられたこと、ちょっとお話をいただければと思いますか。

「辛さんの話は初めて聞いたんですけど、やっぱり、本は読んだことはあったんですけど、自分の立場というのを本当に問われているとか、ただすごい、何ていうか、彼女の闘っている姿に共感するものがあったし、力を貰えたとか、その後辛さんと話す機会があって、ちょうど私はステージの下の係だったんで、一番前に座ったんで、辛さんが横に座ってはったんで話す機会があったんですけど、辛さんから『この共同連とはね、ずっと繋がっていきたい』と言われたんですよ。」

—嬉しいことですね。

「すごく嬉しくて『来年も日にちを教えてください』と言われました。だから、やはり辛さんと共同連というのはすご

い繋がるものもあると思うし、これからも彼女と一緒に繋がって、この全国の仲間と一緒にやっていきたいなと思います。」（札幌市 20代・女性）

—全体会でどんなことを感じられましたか？

「全体会の中でも一番印象的であったのは、淑玉さんのお話で、今まで聞いていた『共に働く』とかいうレベルよりももっと根底の『差別』という部分、差別がどこから来ているのかという部分の本当に根底の話があったと思うんですけど、私には、とても極端というか極論を言われているような気がしたんですけど、後々やっぱり咀嚼しながらそう考えていくと、やっぱり自分がマジョリティーにいて、それにすごく慣れていて、その考えで物事を見ているから、彼女の言っていることも極論に思ってしまうんだけど、やっぱりその辺をえぐられるような、後々考えて、自分がやっぱり差別をする側にいて、そういう視点で物事を見ているなって、『共に生きる』とか『共に働く』とか日々言いながら、考えながらやっているつもりでいても、まだまだ自分の中で見直さなければいけない部分がたくさんあるんだなというのを感じました。」（大津市 20代・男性）

—全体会のご感想は、どのような感想をお持ちになりましたでしょうか？

「辛さんの講演は、うっすらとそういう感じは知っていましたが、あの話を聞いてリアルに何かぐっと来たとか、そういうようなお話で非常に面白かったです。」

—どんなところが刺激されましたか？

「男女の区別が当たり前という感覚が間違っているというようなところと、あとは在日であったりとかのああ

「この話のところがちょっとリアルに、しかもすごくはっきりと言われていたので、非常に分かりやすかったというか、勉強になりました。」（函館市 30代・女性）

—今回の共同連の大会の感想を聞かせていただければと思います。

「僕も共同連と関わるようになって、まだ近いんですけども、『共に働く』『みんなで分配をする』というところは、うちの法人の中でもやっていることでして、それが改めて、そういうことに気付かせてくれたのと、ここまで来ている人に出会えたというのが良かったと思います。」（札幌市 20代・男性）

—今回の共同連の大会でどのような感想をお持ちになりましたか？

「障害のある人もない人も『分けない、切らない』というところの中で、『共に学ぶ』というところもやっぱり『切らない』『分けない』ということが大事だということか、それが基本ではないのかと、『共に生きる』ためにそれが基

本だということと、あと、なぜ特別支援学校に行くとか特別の学校に行くのかということを考えていきたいというか、そういう人とどうこれから対話をうまくしていくのかということ、すごく考えていきたいなと思います。」

—実りの多い？

「実りは多かったですね。いろんな方の意見を聞けたので、非常に良かったと思っていて、そういう人と関わりをこれから持てていけるのが、楽しみだと思っています。」（春日市 20代・女性）

—共同連に参加されてどんな感想をお持ちになりましたか？

「障害者、当事者、障害のお子さんとかのご両親がどういう気持ちであったかということを知ることができたと思います。障害者本人の方とは、そうそうお話しをする機会がないんですけども、親の方から話を聞いて、『ああ、こういう気持ちだったんだな』と、ちょっとふれることができたように思います。」（大津市 40代・男性）

紹介している内容は、プライバシー等に考慮して内容を一部編集しています。

不定期連載
No.2

シリーズ 失敗から学ぶ 共に生きる - 共に遊ぶ

専務理事 石澤 利巳

Cさんは、30歳まで家族と生活していた。家族はいろいろアクティブな面でのサポートをよくしていた。でも、買物経験は残念ながら不足していた。不足というのは、直接Aさんが「お金を払って物を買う」という体験の不足であった。欲しい物はCさんが選び、支払いは家族が行っていたのである。

共同生活の場で一人暮らしを始めたCさんは一人で出かけることを楽しんでた。ある日Aさんの家族から電話が入った。Cさんがスーパーで「万引き」したという理由で呼び出されたというのだ。何のことはない、Cさんは「商品はお金を払って買う」という経験がなかったため、自分の欲しい物を持ったまま店を出たのである。以来、家族と支援する側で買い物体験を行って、「お金を払って買う」という生活を学んで、今は落ち着いた共同生活を行っている。

Dさんも金銭管理が苦手である。自分で物を購入したり、電話代を支払ったりすることは出来る。しかし、購入は出来るのだが、物欲の限度がない。欲しい物はどんどん買ってしまいが、欲しくもない物も他人が持っていれば欲しくなる。そんなタイプのDさんは、いつしかクレジットカードを持った。これも同じ職場の人が使っていたからという理由であった。使い方が分からなかったため、カード使用前に破棄する事を本人と確認した。それでも、物欲の誘惑はまだまだ続いている。



札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東 3 条 1 丁目 1-10
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816



札幌市リユースプラザ ホームページ <http://www.reuseplaza.jp>



社会的事業所支援機構設立記念講演会に参加して

発寒工房 齋藤 悦久

今回は予定時間を超える白熱のある内容でした。法律にしたがっているとしても、相談者がいつでも訪ねてなんでも話せる空間や時間がまだ不完全な部分に怒りを感じるという話が一番印象に残るころでした。まだ対応が事務的で雑な部分があるのかもしれない。

障がい者以外でも理解に添えないことがあることに気づかされました。ビルの清掃業の話も出てきたので、みみをかたむけました。清掃たいへんだけど、長続きする仕事のひとつだと今でも思っています。

発寒工房 関 隆広

最初はまったくないようがわかりませんでした。けども、だんだんないようを聞いているうちにわかってきました。

政治の話もあってべんきょうになりました。むずかしい中でも話してくれてとてもよいとおもいました。いろいろとべんきょうになってとてもよかったです。



斜里中学校の生徒さんが見学にきました

発寒工房 坂本 倫子

8月26日(水)に斜里中学校の特別支援学級の生徒さんと先生2名が修学旅行の一環である職場訪問でライフの見学に来ました。生徒さんがものづくりにとっても興味があるとのことで、当初発寒工房とひだまりだけの見学と考えていましたが、時間があつたので他の事業所もまわってもらうことにしました。



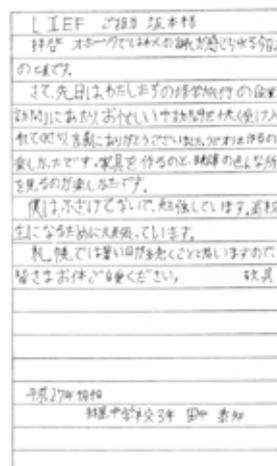
発寒工房ではスタッフにパテ埋めを教わって実際に体験し、ひだまりでは「ラビオリ」作りの体験をしました。とても手先が器用なのと、のみこみがはやいので、どちらもうまく作業していた印象があります。こころやでは世界楽器で一緒に踊ったり、きばりやでは枝から枝豆をはずす作業も集中してやっていたのが印象的です。

斜里町では障害者が就労できる場所がほとんどないと言っていました。生徒さんの得意なことを伸ばしてやりたい、やらせてあげたいと思っても、現状と



でも難しいと先生が言っていました。地方ではこういった声をよく聞きます。もともとと障害や困難をかかえた子供達の将来を考えていかなければならないことであり、一部の人達だけが頑張るのではなく、国や自治体など全体で取り組まなければいけない問題ではないかと心から思います。

職場訪問に来た田中さんから
お礼状が届きました→



8月になると ～資源物の持込みが増える！

リユースプラザ館長 松永 クニ子

リユースプラザでは、地区リサイクルセンターを併設しています。と時々あどほけで紹介しています。この地区リサイクルセンターが大活躍する月があります。まず12月と1月、3月4月、そして、8月です。年末年始と春は移動の時期で多いのは想像できると思いますが、8月は分かりますか？ 実は、お盆でお客さんが多いから容プラ、ペットボトルが増える…だけではなく、帰省時に実家のごみ出しのお手伝いをする方が多いのです。

年配のご両親に替わってごみを分別すると、資源物がどんどんと～新聞、雑誌、段ボール、古着、小型家電、毛布などなど車に満載で来館。冬より動きやすく作業がはかどるのか、持込み量は土・日は1日の回収総量が1トン近くということが続きます。その中には「枝・葉・草」も含まれますが、思わず家族総出で片付け、草むし

りをする姿を想像してしまいます。年配の方は「もったいない」とかルールが難しいと溜め込みこみがちのようです。私たちからのお願いです！資源物は分別ルールを確認して持ち込んで下さい。正しく分別できてない場合は、お持帰り頂くことがあります。



そして今、札幌市では『もっと話そう。さっぽろゴミニュケーション ゴミのキモチで“もったいない”を減らそう。』と「食品ロス」を減らすことに力を入れています。どんなこと？ と気になる方は、リユースプラザでパンフレット配布中です。

【古着】と【古布】の違いとは！ Tシャツの場合



食べこぼしのシミがある。
エリが伸びてる。など

洗濯後「古布」として
出してください。

使用目的は工業用雑巾としてリサイクル



美品で
そのまま着ることができる

洗濯後「古着」として
出してください。



「リサイクルと工作」に想う

リユースプラザ 西田 大作

お盆も終わり、真夏も通り過ぎ皆さんは、いかがお過ごしでしょうか？ 今年の夏は雨ばかりで、嫌になってしまいましたね。

リユースプラザの8月というと、毎年大忙しです。なぜなら、子どもたちが夏休みなのでそれに合わせて工作教室を開催しているからです。

リユースプラザでは環境事業として「ごみの減量」の意識啓発をしているので、工作の材料もリユースプラザで何ヵ月も売れない、あるいは商品にならないくらい傷んだ家具を廃材として利用した「リサイクル工作」を展開しています。

子どもたちには、「リサイクル」と「工作」という2点セットで学んでもらえるので夏休みの良い自由研究作品としてとても人気があります。材料の手配や加工などとても大変なのですが、子どもたちがわくわくしながら触ったことのない道具や機械を駆使しながら作品を形にしていく姿を見るととても嬉しくなります。

これからも、色々な工作を考えて子どもたちの良い学びとなるような工作教室を展開して行きたいです。



ちなみに、廃材を使った工作教室は、8月1・2日アクセスさっぽろで開催された「環境広場さっぽろ2015」で「ペン立てづくり」6日には下水道科学館で「フォトフレームづくり」、8日にはリユースプラザで「本立てづくり」をしました。

完成したときの子どもたちの笑顔に毎回癒されています。

アウトソーシングセンター
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74
市民活動プラザ星園 103
TEL 011-596-6581
FAX 011-596-6582
E-mail:genki@hatarakutei.jp



感謝とのど元過ぎれば…

富田 英人

「これ酷いね。ほら、ここと、ここと、ここも」映像を指差す男。ただポカンとする私。

「ここなんて、ぜんぜんいってないよ」そしてデータを示し「こんな悪いデータで3年生存のデータないから」。軽く茫然自失の私。

こんな会話をしたのが2年前の2月中旬。何事もなく年末年始を迎え、2013年も10日ほど過ぎた頃のこと。特別どこが痛いとか、苦しいとか具体的症状はないのだけど、何か身体が変だなと感じ始めました。歩くのが少し辛い。変だなあ。そんな感じ。5分で行けるコンビニに15分かかかる。そして徐々に辛さが増して来る。通勤に異常に時間がかかる。会社も休みがちになりそのうち、息が苦しくなり過呼吸のような発作が出る。それでも、気管支炎と自己判断して我慢。風邪薬を飲んで我慢。風邪じゃないので効くわけもないのだけど、とりあえず風邪薬。

半月ほど我慢したけど、最早これまでとタクシーを呼び朝イチで某病院へ。検査結果を待たず「あなたをこのまま帰すわけにはいきません」と即日入院。入院時の病名が「肺水腫による心不全」。要は胸に水が溜まっている状態らしいです。どのくらい胸に水が溜まっていたかという12kg。検査の先生に言われました。「こんなんで、よく我慢してたね。苦しかったしょ。溺れているのと同じだからね」。

一気に水を抜くと脱水症状になるという事で、約2週間かけての水抜き。その後、造影剤を入れての心臓検査。そして後日、先生からの検査結果について別室にて説明を受けた時の会話が冒頭の数行。

会話の切り出しは、「水はきれいに抜けたよ。別人のようなきれいな肺になったから。よかったね」だったので「これで退院できる、やった」と喜んだのです。しかし、「でもね」から始まった話が詰まっているのだ、3年生存記録がないのだと今まで言われたことのない話ばかり。(良い事を先に聞いたほうがいいのか、悪い事を先に聞いたほうがいいのか。どちらがいいのでしょうか?)

か、悪い事を先に聞いたほうがいいのか。どちらがいいのでしょうか?)

心臓には太い血管が3本あるらしく、その1本が完全に詰まっていて、2本が半分詰りかかっている状態で、血液が心臓に回っているのはほんの数箇所。原因は長年の喫煙とハイカロリーな食生活。思い当たる節が山ほどあったのでここは素直に反省をして、先生に手術をお願いしました。手術は8時間予定。術後ICUで聞いた話では、途中血が止まらなくなって12時間かかり、しかもちょっと危なかったらしいです。でも執刀医の先生とスタッフのおかげで目覚めることができました。

そして次の日から早々に地獄のリハビリがスタート。でも体を起こすこと、30秒ベッドに座っていること、立つこと、普通にできた事ができないのには焦りました。募るイライラの中で、先生と看護師さんに励まされ、時に尻を叩かれながらのICUと一般病棟での2週間のリハビリの日々。そしてうまく進まないリハビリをしながら思いました。普段何気なくできている事の方が奇跡なのではないかと。歩くこととか、座ることとか。いやそれ以前に、生きて色々な事を感じて、誰かと何かしらの関わりを持っていられること自体が奇跡なのではないかと。結局、人って生きているのではなく生かされているものなんだなと。だって体の中にあるこぶし大の心臓が止まれば死んでしまう儂いものなのです。そんな奇跡の日々に感謝と戒めを持っていなかった私に「それではいけませんよ」と、ひよっとしたら神様が与えてくれた入院生活だったのかもしれない。(それにしても少々キツかったですけど)

今まで私に関わって頂いた全ての方々と、ちゃんと生きていける環境に感謝をしながら、のど元過ぎれば…にならないようにと日々過ごしていかなければならないと思っています。「ありがとうございます」と「お蔭様で」は私にとって忘れてはならない言葉になりました。



ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション 繭結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

新米ヘルパー奮闘中

ヘルパー 宮津 憲司

皆さん、はじめまして。4月から「ヘルパーステーション繭結」で働いている宮津です。

入社してアツいう間に四ヶ月経ちましたが、まだまだ経験不足・技術不足で、先輩ヘルパーに頼りっぱなしの毎日です。

前職は、「児童デイサービス」で、子供達に勉強(基本的な漢字の読み書きや会話、簡単な計算や時計の読み方・お金の数え方など)を教えたり、公共交通機関を利用して、課外活動に出掛けたりといった仕事をしていました。

「ヘルパーになろう!」と決意したのは、この時の父兄からの「この子が大人になった時、自立した生活をする為には、今、何が必要なのでしょう?」「働く場所はあるのでしょうか?」との相談がきっかけでした。ライフには、居宅サービスや移動支援をする「ヘルパーステーション繭結」の他にも、障害の有無関係なく一緒に働く「共働事業所」があるので、機会があれば勉強させていただき、数年後、教え子達が社会に出る時に何かしらのアドバイスが出来るようになれば…と思っています。

「ヘルパー」の仕事についてですが、資格を取る時、「介助」の方法などは一通り勉強しましたが、実際の現場では「テキスト」通りとは行かず…、「調理」の味付けにしても「料理本」や「料理のサイト」見て覚えても、「醤油大きじ1杯…大きじってカレー食べるスプーンくらい? 塩小さじ1杯…小さじって小さいスプーンでいいの? 塩コショウを少々…少々ってどれくらい?」って感じで、しょっぱかったり薄かったりしているかも…ごめんなさい。

まずは、自分なりに「コミュニケーションを大切に、安全で、ほっと心が安らげるような居心地のいい空間、少しでも快適な生活を送れるような支援」が出来るよう、頑張りたいと思いますので、このYDO50(やれば出来る? おじさん50歳)を、よろしくお願いします。

ちなみに、家では3歳の♂猫を飼っています。名前はチャイ。生まれて2週間ほどの頃に自宅近所で保護し、家族の一員になりました。(ペット禁止のアパートなので内緒ですが…)

毎朝、歯磨きをしていると、肩に飛び乗り、後頭部にスリスリしてきたり、貴重な髪の毛をガブツてしたり、歯ブラシに猫パンチを繰り出したりして、歯磨きの邪魔をします。(汗)…まっ、かわいいから、これは許せちゃいますが…。

今、一番問題なのが、「浴室から出た時の攻撃」です。シャワーが止まる頃合を見計らって、脱衣所にある洗濯機の上で待ち構え、バスタオルで身体を拭いている間、「シャ〜ッ!」「フ〜ッ!」と叫びながら、牙むき出しの本気の噛み付き攻撃&ツメ出での猫パンチ攻撃。おかげで腕も脛もいつも傷だらけです。(涙)解決策わかる方、アドバイスよろしく願います。

最後に、先月号と被ってしまいますが、コンビニでのひとこま…

私「あらびきフランク1本お願いします。」

店員さん「はい、ケチャップ付きのケチャップでいいですか?」

私「???…マスタード付きでお願いします。(笑顔)」

店員さん「はい、わかりました。(照れ笑い)」



就労継続支援事業A型
共働事業所

・農業 ・喫茶
・DM発送
・その他の軽作業

きばりや



笑顔になれるカフェに… カフェ・ド・キバリヤ 若森 舞子

共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
TEL (011)644-5533 FAX (011)613-9323

Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
TEL/FAX (011)758-6533

カフェ・ド・キバリヤで働き始めて、半年以上がすぎました。

働き始める前にはいろいろな心配や不安があったのですが、みなさんの温かな笑顔とサポートで不安はあっという間に消え、時を重ねるうちにどんどんこの仕事の魅力にはまっていく自分がありました。

お客様が、不器用だけど一生懸命接客している姿



に感動してくれたり、独特なユーモアと愛嬌(!?)で、クスッと笑顔になってもらえたり、エルプラザに来た時にはつい寄りたくなってしまおうような、そんなカフェにしていきたいと考えています。

これから季節限定のプレートなど、きばりやの野菜をたくさん使ったオリジナルティーあふれるメニュー作りなどいろいろ考えていきたいと思っています。



畑

きばりや 濱中 孝仁

みんなでメンバーは朝はんに3にんのいろいろなようがやさいものをミシクいんげん豆、ボルロット(ささげ)にんにくのい匂い岡田悟さんをおしてくれたのでありがとうございます。みんなにもものはたけ世界づくりました。最後までま終けしました。



畑の不思議な話

きばりや 加藤 信一

私も受け売りの話なのですが、あるお百姓さんは1日で10坪の畑を耕すことができる。かたや、あるお百姓さんは1日で1坪しか耕すことしかできない。1日で1坪のお百姓さんは毎日、一生懸命に1坪を耕す。傍らでそれを見ていた10坪耕すことのできるお百姓さんは「馬鹿らしい、あいつが1坪ならオレは10坪できるが、6か7坪耕していればいいや」と、ちからを出し惜しみする。しかし、なぜか? 毎日一生懸命に1坪を耕すお百姓さんに良いことが次々と起こってしまう。

不思議な話ですが、自分のちからを出し切っている人に神様は味方をするようです。



恩

カフェ・ド・キバリヤ 高橋 優希

Cafe de キバリヤで働いて5ヶ月になりました。色々な仕事を覚えて先輩方と楽しく働いています。

話が変りますが…土用の丑の日にお爺ちゃんお婆ちゃんに鰻を食べさせることができ良かったです。初めて奢って分かったことがあります。自分の為に使うお金と他人の為に使うお金の違いが分かりました。

自分の為ですとコツコツ使うのですが…他人の為となるとポンと出してしまうのが怖いです(身内だからなのかな?)返しきれない恩が身内にはありますので当分仕事をしながら恩返しをしたいと思います。

では次は共同連で会いましょう。

~cafe de キバリヤより~

9月のオススメ スーププレート

食欲の秋到来! の今月のオススメはスーププレートです。

きばりやの農薬不使用の野菜がたっぷり入った日替わりスープがメインになっております。来ていただく度に色々なお野菜に出会えるこの季節、是非ご来店ください。お待ちしております



ドリンクセット **570円**
単品 **380円**

共働事業所 もじや

〒064-0808
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104
TEL(011)596-6583 FAX(011)596-6584
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成



サポート終了!

永島 勝章

衝撃の事実を知ったのは、まだ雪の残る頃であった。製版機のサーバーのサポートが今年の7月で終了するという。

すぐに、新しいサーバーの見積もりをとってみると、かなり高額だったので現状のサーバーを使い続ける方法を思案することに。色々調べたところ、MAC1台と製版機を直接つなげれば良いとのこと。もじやの事務所と製版機のある印刷工場までは50m程あり、LANケーブルを繋ぐことはひと仕事なので、無線を導入することにした。

ヤマダ・ビック・ヨドバシと駆け巡り、店員さんから情報を収集したが、もしも電波が届かなければと不安な予感がして、一番距離が長く届くものを選んだ。

早速サーバーに取り付け、自分のMACで確認。工場の中に無線LANを置き試したところ、電波が届かず、工場の扉の外に置き試した結果「つながった!俺すげ〜」と思ったのも束の間、下版用を使用する中古で、最安のiMACをネットで探し注文をしてもらい、これで丸く収まると思いながら、工場の星さんと中橋さんの手を借り、綺麗に配線を整えてiMACが届く日を待った。

数日後、iMACが届き早速試してみると…

「おっ送れない」右手と顔に硬直が!

「おっ出来たか? その顔はひよっとして! 永島!」と誰かの声。

「永島さんだもの」「ギブ? ギブ?」

次々にあびせられる周囲の声にとらわれず、次の一手に取り掛かる。ネットで調べながら、色々試してみたがうまく行かず、そして私は途方に暮れる。

子供に「寝言とでランがランがと言っていたよ〜走るの夢を見てたの?」と言われた時もあった。

そんな中「ネット関係で詳しい人を紹介してや

るか」と、怪しい笑いの所長とのやりとりがあり、来てもらう事となった。「最後に救いの手を差しのべてくれてありがたい」と本人の前で言えない私がいる。

紹介をしていただいた方に見てもらうと「WiFiの表示がMAXですけども電波が弱いですね」とのことで、一からの仕切り直しに。ドア越しに付ける機械も結構な金額がするというので、事務所までケーブルを伸ばすことに。(学校の壁には私の思いは突き通らなかった)

重たい足取りで、中橋さんの所へもう一度配線を頼みに行くと「え〜またですか〜やる前にちゃんとテストしてからやってくださいよ〜永島さん〜」と言われつつも。「やってみてからわかることが多いんじゃ、人生は」と心で泣き、顔で微笑んだ。

配線延長に取り組んでいると、もじやが入居している、「星園プラザ」の方も見かねて「手伝ってやる」といつてくれ、お言葉に甘えて手伝っていただいた。またおおごとにしてしまったが、サポートが切れる前までに無事終わることができた。

「努力は必ずしも報われるものではない」という教訓を得たことと、ケーブルも私の首も繋がって本当に良かったと思う。



最近休日に

中橋 敬人

さいきんザンギをたべにみせにいつてます。

休みの日に中国料理布袋(ホテイ)というみせにいつて定食ザンギをたべます。



ボリュームあつておいしいです。あまりたべすぎないようにやさしいをたべます。

健康に気をつけて仕事をがんばります。



NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ

共働サービス たねや

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32
テラ二十四軒1階

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088
taneya@npolife.net

- ・出張販売
- ・チラシ折り
- ・封筒詰め作業
- ・箱折り・シール貼り
- ・清掃委託業務
- ・その他委託業務

あーそういえば

中井 学

毎年8月になると太平洋戦争の戦争特番で戦争の悲劇や悲惨さをテレビや新聞などのメディアで放送していますが、いつも何気を感じるのは自分らだってあの戦争を煽っていたのではないのか？ という事。全くとは言いませんがあまり論じられていないのは何故？ と思ってしまうのはオイラだけかな？ と思った時に高校時代の日本史の先生の事を思い出しました。

その先生は変わった先生なのか日本史に興味を持たせる為なのか、本来なら教科書の最初から授業をやる物を明治維新から昭和20年つまり終戦まで

を先にやると言ったので、オイラは自虐史観ですかー？ と半分冗談、半分本気で言ったら、その先生が言ったのは『それは違う、後でそこら辺もやるけども、明治維新

以降太平洋戦争の終戦まで日本が置かれた状況をその当時の国際的価値観から第3者的に客観視した視点でオレの授業を進める。確かに今現在の価値観から観たらあり得ない事でもその当時はそれが当たり前前の事だったり、致し方ない事であったりする場合もある。それにお前が(オイラの事)今言った自虐史観は日本の国民の自信を失わせ、萎縮させ、いきすぎれば反作用を起こす可能性がある、百害あって一利なしと言っても良いと思う。それよりも冷静な目で客観的に歴史という物に触れていきたいと思う』と言った事を思い出す今日この頃です。



札幌駅前 地下歩行空間 **「カイマチ」にもぜひお越しください!**

出店予定 9月25日 AM10:00~PM6:00

まいにち

大堀 昌彦

まいにち仕事場はあつくてぼ〜っとしますが、がんばって仕事をしています。ほかのみんなもがんばって仕事しています。仕事のあとのごはんがおいしいです。

夏のたねや!

奥井 忠宏

8月。暑い夏がやってまいりました。汗だくで軽作業するのも夏らしくて好きですが、今年からたねや専用の空調もついてずっと作業がしやすくなりました。何よりも来店されたお客様が涼しさにホッとしたような表情になるのがうれしいです。

こうやって少しずつでもお店が良くなっていくのが非常にうれしい今日この頃です。

また、FBなどで公開されていますが、私もきばりやの畑の作業を手伝わせていただきました。大自然の中で植物と虫と太陽に囲まれての作業は大変ですが、とても人間らしく楽しい時間となりました。おいしい野菜をどうやって販売していくか、またみんなで話し合っ決めていきたいと思ひます。



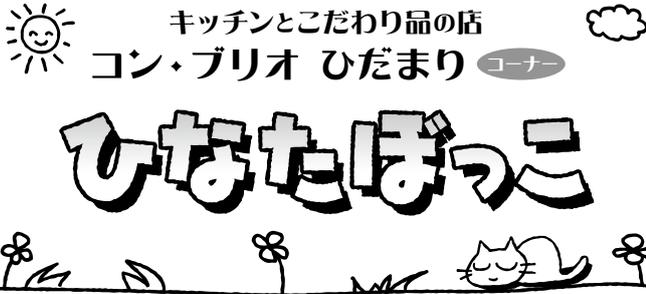
「Facebookでも商品など随時更新中!!」

共働サービスたねやのfacebookでも商品など随時更新していますのでぜひご覧ください。
「共働サービスたねやfacebook」で検索していただくか、URL(<https://www.facebook.com/taneya.life>)を直接入力してくださいね。

新しい出張販売先

蜂谷 和輝

札幌視覚支援学校へ出張販売の打ち合わせにのぎさんと自分で行って来ました。さいしょの出張販売の日付がきまってよかったです。こんこの目標は、たねやの売り上げをあげて、学校の生徒さんにじっしゅうに来てもらいたいです。



トイレも快適!

成田 めぐみ

今年は店舗にクーラーが付き♪トイレもリニューアルして! 快適な夏を過ごせた、ひだまりです♪ 少しずつ秋の気配を感じる今日この頃…

9月は何かとイベントも多く、スタッフとメンバーさんと力を合わせ楽しく仕事をこなしています☆ 一雨ごとに寒くなるこの季節…

あったか〜い♪料理と、あったか〜い♥メンバーさんの笑顔で、お客様の御来店♪お待ちしております(´_`)>

初めてのデモ行進に参加して

熊谷 新

僕は、ライフで初めてのデモ行進に参加しました。場所は、大通公園と琴似です。

最近、戦争や安保法案が厳しい中、安倍総理が日本国憲法を変えてしまうのかと思うと、不安な気持ちになりました。

これまで日本は、戦争に関わってきた国で、沢山の人が命を落したり、ケガをしたりして、とても非現実だと自分は感じています。

この日本の政治を変えられれば、人々が幸せな日本を作っていけるのかと思いました。これからも明るくなってほしい今日この頃です。

舌が酸で溶けようとも

児島 義秀

アドボケート5月号の石澤専務理事の記事、皆さん読みましたか?

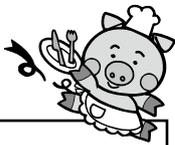
実際経験しているのは、もう石澤さん(あえて昔呼んでいたように呼ばさせていただきます。)と私の2人だけになってしまいました。最初の手当てが2,000円くらいだったかなあ? そんで食費と維持費が10,000円出ていくほうが多い日々が2年くらいですかねえ、続けました。今の人なら絶対に来ないでしょう? ほかの所を探すでしょ? それでも手当てが出るだけいい方だったんですよ! ほかも無かったですからね。

こういうのもなんですが、石澤さんとか、私とかが口をすっぱくして言っても、今の人たちには解らないと思います。だって経験してないんだもん。そりゃ伝えていくことは大切ですよ? 伝えていかなきゃいけないと思います。でも大学や専門学校で習ったから解ってるよ(知識としてだけ)とか、今さら言われてもどうなる? とか、興味や関心を持たなければ、「また言ってるよ! 今の事しか知らないのに…」というようなことを思うだけで、ただ説教じみた事を言われたということしか残らないと思います。でもどんっ…だけ大変な思い(事)をしてきた人たちがいて、今の福祉制度があってライフがあるんです。

それを舌が酸で溶けようとも言っていかなければならない。先駆者として。興味や関心を持った人のために、今、石澤さんが「ともいき塾」という勉強会を開いて、今までのライフの歴史の事や、福祉制度のことを経験したことを交えながら教えています。制度はコロコロと変わるので大変ですがとても勉強になります。

- ① かぼちゃを柔らかくなるまでレンジでチン! (600wで6分位)
- ② 柔らかくなったら潰して温かいうちに砂糖とマーガリンを混ぜ合わせる。
- ③ そこへ残りの材料をすべて入れ、混ぜ合わせら、マーガリンを塗った炊飯器に入れてスイッチオン♪
- ④ 炊いたら、もう1回スイッチオン♪ 表面を触って生地が固まっていれば完成♪

☆キッチンレシピ!



旬のかぼちゃでスイーツ♪
炊飯器で簡単!

レアかぼちゃケーキ

- かぼちゃ……………4分の1
- たまご……………2個
- 小麦粉……………70g
- 牛乳……………1/2カップ(100cc)
- マーガリン……………60g
- 砂糖……………30g
- バニラエッセンス……………4滴





NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ

こころや
k o k o r o y a

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323
http://www.npolife.net/branches/kokoroaya/

お米精米・販売
チラシ折り
封筒詰め作業
箱折り
シール貼り
清掃委託業務

刺激的こころや

小黑 悠佑

まとわりつくような暑さが続きましたが、お盆を過ぎて近頃はめっきり涼しくなりました。

こころやの皆も夏バテ気味でしたが、そろそろ復活の頃でしょうか。

最近のこころやは議論の場を持つ時間が増えました。ある時は仕事が無くて空いている時間に、統合失調症の勉強をしました。当事者のメンバーさんに講師をしてもらい、質疑応答で活発な意見を出し合いました。

またある時は「音楽と人生」というテーマで、人生ズの山口さんが語ってくれました。他人の生き方や考え方を聞くことは大変良い勉強になります。また

こういう機会を持ちたいです。

心技体共に充実を目指すこころやをこれからもよろしくお願いします。



自分の最近について

笹尾 知弘

◆関節の痛みをとるために最近退勤途中にリハビリに通いはじめました。リハビリはつらいけど、精神的には気が楽でいいです、(トレーナーの人達は接しやすくて関わりやすいです)これですこしは動くのが楽になればいいです。



◆私生活では今後オレがどうしたいか支援事業所の人と(仕事に関しても、一人の時間に関しても)関わりははじめました、これからも定期的に時間を見つけ関わりをもちたいと思います。

本日はインテルの そうじの事をかきます。

石井 美之

私は金曜日の午後にインテルの工場にいて室内の掃除をしています。

内容は、インテルの工場の従業員更衣室を両方もやります。

また両方の窓、階段、ロッカーの上下の拭き掃除、風呂の掃除、ユカのごみとり等をやります。

直接接する事ではありませんが従業員と一緒に社会の役にたてるようがんばります。

共伸特機について

西野 悠斗

きょうしんとつきに入ってもうよく年になります。さいきんやっているしごとは、ひもとうし、ひもきりのしごとをしています。

ほかにやっているしごとは、はこづくりをしています。きょうしんとつきはたのしいです。

ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

ライフでは、色々な職種の事業を展開しています。一度働いてみて自分に合わないな—と思ったら、ライフの中で別の職種を探すことも出来ます。お気軽に、自分にピッタリのお仕事探しをしませんか？

就労継続支援事業B型 たねや



♪♪ たねやと一緒に販売をしてみませんか!?

たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や、手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



☀ 就労継続支援事業B型 ひだまり

コン・ブリオひだまりでは、店内でのお食事とテイクアウト弁当作りのほか、体に優しい商品を元気いっぱいの接客で販売しております。

また、市立札幌病院で床頭台清掃の委託業務も行っており、現在メンバー11人とスタッフ5名で働いています。

料理が出来なくても、経験がなくてもスタートは一緒です。皆が優しく教えてくれますよ!

ひだまりと一緒に働いてみませんか?

みなさんのご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131

担当 小野寺・小野

私たちと一緒に
楽しく働きませんか!!



※毎日元気に出勤できる方優遇
問い合わせ:011-613-0611
担当 村上・奥井



就労継続支援事業B型 こころや

あなたのこころに!!
私のこころに!!
「こころや」です。



『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。ご連絡お待ちしております。

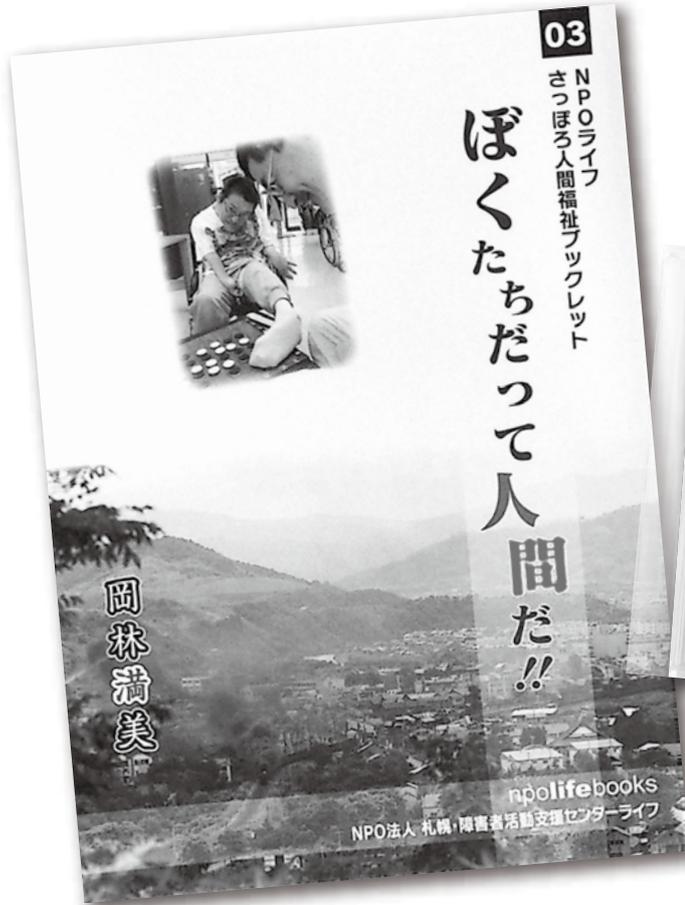
問い合わせ:011-614-1871
担当 田中・小黒



ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

絶賛発売中

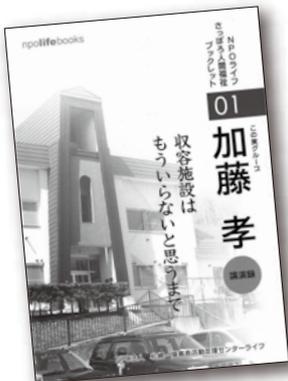
障害者として生まれた満美。
話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で
自殺まで考えた彼が今、
『生きていて幸せだ。』と言えるのは…
岡林満美、渾身の一冊、ぼくたちだって人間だ!!



CD 岡林満美
僕たちの小さい命
同時発売!!

NPO ライフブックレット No.3 2012年8月31日発行
『ぼくたちだって人間だ!!』 定価 800円(送料別)
A5判 134ページ

2012年8月31日発売
『僕たちの小さい命』 定価 300円(送料別)
※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…
本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行
『収容施設はもういらなくとも』
A5判 72p 定価 840円(送料別)

社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



危機の時代こそ
新しい考えを試す好機!
社会的事業所促進法を!

日本発
共生・共働の
社会的企業
定価 2,100円(送料別)
編者 NPO法人共同連
2012年9月10日発行
195×135 240p



震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人々との「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。
社会的事業所とは何か?
その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行
『誰もが働ける社会を』
A5判 140p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——
NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/

ともどもネットは障がいのある人もない人も共に生き、共に働く事業所の集まりです。

ともども 秋まつり まっぴだ! 四 環

ほくも
会場に遊びに
行くよ!



ステージイベント

11:00~

りゅうていごくらく
**柳亭互久楽さんによる
鼻笛演奏会**

昨年10月の全国大会で
日本一となった楽しくて
美しい音色は必聴です!



11:45~

嵐 W-ARASI
ワラシとゆかいな仲間たち

キッズ
パフォーマンス
嵐の曲で
ダンス!



おたのしみイベント

10:00~

子ども対象

楽しい
リサイクル工作教室

ペットボトルと古DVDを使ったホバークラフトづくり!!



参加無料
定員20名
10時から整理券
を配布します。

13:00~

子ども対象

NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ
**岡林名人との
オセロ対決!** 「日本オセロ連盟認定3段」の
岡林名人との真剣勝負だ!

キミの挑戦を
まっぴだ!



日本オセロ連盟
認定
3段

①10:30~②14:00~

子ども対象

(一社)札幌消費者協会環境研究会

「さっぽろ3環境かるた」で
大かるた大会!

ビック
サイズの
絵札

参加者には記念品を
プレゼント!



福祉バザー

手づくりスイーツ・リサイクル石けん・手織り製品・EMぼかし・エコ雑貨などを販売!

第三世界ショップ

雑貨や食品などの
フェアトレード商品を販売します!
「フェアトレード」とは、立場の弱い発展途上国の生産者から直接商品を購入して「仕事、教育、医療、地位向上など」を応援する貿易活動です。

ともどもバザール

ともども食堂

カレーライス・揚げたてコロック・うどん・ソフトドリンク・アイスクリーム・コーヒー(アイス・ホット) など



こども縁日

ヨーヨーつり、オモチャつり
子どもくじ、ポップコーン など



イベント期間中、ともどもネット
参加団体紹介パネル展を開催!

共生共創ネット

入場無料 9月26日(土) 10時~15時

場所 札幌市リユースプラザ
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

お問合せ 011-375-1133

地下鉄東西線「新さっぽろ駅」7・9番出口 徒歩8分程度



札幌市リユースプラザ

検索

《ともどもネット参加団体》NPO法人 コロポックルさっぽろ / NPO法人 札幌障害者活動支援センター ライフ / NPO法人 支援センター 北のスマーク / NPO法人 地域障害者活動支援センター 創生もえぎ / NPO法人 地域障がい活動舎 あしの会 / NPO法人 地域生活支援グループ 共働友楽舎 / NPO法人 つむぎ / 社会福祉法人 HOP
《主催》ともどもネット / 札幌市環境局環境事業部 《共催》札幌市リユースプラザ
《協賛》NPO法人ひまわり会 / NPO法人地域生活きたのセンターばお / (一社)札幌消費者協会環境研究会



🎉 ご協力ありがとうございます 🎉

寄付金 吉田 節子 様

賛同会費 田野 政勝 様 吉田 節子 様

アドボケイト購読料 和島 正博 様 戸澤 泰子 様 渡邊 弘 様 山本 文子 様

ありがとうございます🙏

私の
オススメ

セロ弾きのゴーシュ 宮沢賢治 作 赤羽末吉 絵

共働サービスたねや 所長 村上 千春

今年も自分のお勧め本を皆様へ紹介できる貴重なスペースをいただきました。ありがとうございます。今回は誰もが知っている本を紹介したいと思います。

宮沢賢治というと、「風の又三郎」や「雨ニモ負ケズ」などの作品がありますが、私はこの『セロ弾きのゴーシュ』がいちばん好きで、お勧め絵本に必ず入れる一冊です。ゴーシュと動物たちの交流の中から生まれる、ゴーシュの気づきやあたたかな気持ちが強く伝わってきます。自分のここにも謙虚さや優しさを持ち続けることが必要だなと感じさせられる内容です。

そしてこの絵本をお勧めするもうひとつのポイントは、絵を描いている赤羽末吉さんという点で

す。わたしの大好きな絵本画家で、『スーホの白い馬』に出会い、以降『だいくとおにろく』『かきじぞう』など収集し始め、赤羽末吉マニアとなつてしまいました。きっとみなさんも一度は書店でみかけているのではないのでしょうか。かわいらしい中に豊かな表情がかくれており、絵本の内容をより深いものにしていくらしい作品たちです。

この1冊は、わたしにとって一生手放すことができない大切な作品です。

本の童話名作選
セロ弾きのゴーシュ
発行：偕成社 価格：¥2,160



ライフカンパのお願い

NPO札幌障害者活動支援センターライフでは、設立して25周年を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、この2,3年皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

振り込み先

北洋銀行 琴似中央支店 普通預金 4606735
加入者名 特定非営利活動法人
札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

札幌信用金庫 琴似支店 普通預金 3296744
加入者名 特定非営利活動法人
札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

ゆうちょ銀行 振替口座 02710-4-63485
加入者名 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

編集後記

共同連全国大会も多くの方々の協力をいただいて無事に終了することができました。会場となった北星学園大学を始め、ご協力を頂いた皆様にお礼申し上げます。大会ではしばらくぶりにお会いする方もいて同窓会さながらの光景でした。また、地元北海道では共同連へこれまで参加いただいていた方々にも新たに参加いただき、少しネットワークが広がった感じです。北海道内でも共同連の地域ブロック活動を進めなければいけません。その第一歩になればと願っています。大会運営でも地元なりの課題が見えたような気がしますので、それは整理をして共同連事務局とも連携して今後のつなげていきたいと思っています。(タケ)

アドボケイト 9月号(第178号)

2015年9月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第522号
1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

編集人/NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円